

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市城内1-1205 電話 0957-63-5073

令和6年(2024)年

4月発行

(vol.17)

令和5年度 雲仙地区治山事業の取り組みについて(報告)

1. 観測及び調査結果

「雲仙地区治山対策に関する提言書」により、極楽谷・炭酸水谷では、3基の治山ダム(谷止工)の完成によって、谷の侵食を抑制し土砂や水の流れを整える機能は一段と向上したとの評価を得ました。しかし、谷は引き続き不安定な状況にあり、侵食による地形変化や土砂流出状況等について観測及び調査を実施し、その結果を見極め、必要に応じて追加対策を検討していくことになりました。

そのため、昨年度に引き続き、令和5年度は、4半期毎の定期調査観測で、9回のドローン撮影、2回の現地踏査、1回の植生調査を実施しました。

令和5年の年間雨量は、雲仙岳で、昨年とほぼ同じ2,574.5mm、また時間最大雨量は、8月17日の44.0mm、連続最大雨量は、6月24日～7月5日にかけて307mmを記録しましたが、都度観測の基準値である時間連続雨量60mm以上は観測されませんでした。

また、令和6年1月～3月までの連続最大雨量は、3月23日～26日にかけて360.5mm、時間最大雨量61.5mmを記録し、都度観測の基準値である連続雨量、時間最大雨量をいずれも超過しました。

しかしながら、写真のとおり、極楽谷・炭酸水谷、赤松谷本流の治山ダムへの土石流の発生及び土砂の異常堆積は、ドローン空撮の結果、令和6年4月2日まで確認されませんでした。

【写真-1】【写真-2】【写真-3】

極楽谷・炭酸水谷治山ダム群の状況



【写真-1：(令和5年4月3日撮影)】



【写真-2：(令和6年4月1日撮影)】

水無川流域(赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷)全景



【写真-3：(令和6年4月2日撮影)】

令和6年度 雲仙地区治山対策の予定

「雲仙地区治山対策に関する提言書」を踏まえ、極楽谷・炭酸水谷の治山ダムの本体工事、それに付随する緑化工事の完成によって、ハード対策が令和3年度を持って当面の完成となりました。

しかしながら、谷は引き続き不安定な状況にあり、侵食による地形変化や土砂流出状況等について観測及び調査を実施し、その結果を見極め、必要に応じて追加対策を検討していくことになっています。

このため、昨年度に引き続き、観測・調査を定期的実施するとともに、本誌「雲仙治山だより」の定期的な発行を通じて、これからの観測・調査の結果等について情報を発信し、地域の皆様の安心・安全に寄与してまいります。